

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

[供給者]	会 社	鹿島道路株式会社		
	住 所	東京都文京区後楽1丁目7-27		
	担当部門	技術開発本部技術部		
	電話番号	03-5802-8014	FAX番号	03-5802-8045
	緊急連絡先	担当部門に同じ		
整理番号：	D J B - 0 1 7 6 B - 3	改訂日	2 0 2 2 年	5 月 2 5 日
		作成日	2 0 1 5 年	3 月 6 日

化学品の名称 K S プライマーⅡ 硬化剤
(化学名, 商品名)

2. 危険有害性の要約

GHS分類：

引火性液体	区分2
急性毒性（経口）	区分4
急性毒性（経皮）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）	区分に該当しない
皮膚腐食性／刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分1
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	区分に該当しない
発がん性	区分に該当しない
生殖毒性	区分1 A
特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分1
特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分3
特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分1
特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分2
誤えん有害性	区分1
水生環境有害性 短期（急性）	区分2

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素：

・絵表示



・注意喚起語 危険

・危険有害性情報

引火性の高い液体および蒸気
飲み込むと有害（経口）
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ／眠気またはめまいのおそれ（気道刺激性・麻酔作用）
臓器の障害（腎臓・中枢神経系・全身）
長期または反復暴露による臓器の障害のおそれ（肝臓・脾臓・血管）
長期または反復暴露による臓器の障害（腎臓・中枢神経系）
飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ
水生生物に毒性

・注意事項（GHS対応表記）

安全対策 使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
炎および高温のものから遠ざけること。禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器および受器を接地すること。
防爆型の電気機器・換気装置・照明機器などを使用すること。
火災を発生しない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。

救急措置	粉じん・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。
	粉じん・ミスト・蒸気・スプレーの吸入を避けること。
	取扱後は手をよく洗うこと。
	この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
	屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
	緊急時を除き、環境への放出を避けること。
	保護手袋・衣類・保護眼鏡を着用すること。
	飲み込んだ場合は、直ちに医師に連絡すること。
	飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。
保管	皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
	皮膚や毛にかかった場合は、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。
	吸入した場合、災者を新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断を受けること。
	直ちに医師に連絡すること。
	気分が悪い時は、医師に連絡すること。
	気分が悪い時は、医師の診断を受けること。
	特別処置が必要。『4. 応急処置』を参照。
	口をすすぐこと。
廃棄	吐かせないこと。
	皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断を受けること。
	皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断を受けること。
	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
	汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。
	火災の場合には、『5. 火災時の措置』に記載の消火剤を消火に使用すること。
	容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
	涼しく換気の良い場所で保管すること。
	施錠して保管すること。
	内容物や容器を廃棄する場合は、法令・条例に従って廃棄すること。

※製品ラベルの有害性情報は製品群毎に共通の内容としていますので、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：	混合物		
化学名又は一般名：	エポキシ樹脂系プライマー		
成分及び含有量：			
成分名	含有率 (%)	C A S No.	化審法
変性ポリアミドアミン等	100		
内：トルエン	47.2	108-88-3	既存
イソプロピルアルコール	25～35	67-63-0	既存
n-ブタノール	1～10	71-36-3	既存

4. 応急措置

目に入った場合：	・清浄な水で15分間以上洗眼し、眼科医の診断を受ける。
皮膚に付着した場合：	・付着物を拭き取り、水と石鹼でよく洗う。 ・かゆみ、炎症が出た場合は、ただちに医師の診断を受ける。
吸入した場合：	・空気の新鮮な場所に移し、安静保温に努め、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合：	・多量の水、牛乳又は微温塩水を飲ませて吐かせた後、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法：	・火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。 ・保護衣を着用するほか、状況によっては、不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。
消火剤：	水 []，二酸化炭素 [○]，泡 [○]，粉末 [○]，乾燥砂 [] その他 ()

混触危険物質： アルカリ、酸化剤
危険有害な分解生成物： 知見なし。

11. 有害性情報

[GHS分類] 急性毒性： 経口：混合物の急性毒性推定値は1590mg/kgで、区分4に相当。
経皮：混合物の急性毒性推定値は2000mg/kg以上。
気体：本製品は常温で液体のため分類対象外。
蒸気：混合物の急性毒性推定値は20mg/L以上。
粉じんおよびミスト：混合物の急性毒性データが不十分のため、分類できない。

皮膚腐食性／刺激性： 混合物の、皮膚腐食性区分2に該当する成分濃度が10%以上あるため、区分2に相当。

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性： 混合物の、皮膚腐食性または眼に対する重篤な損傷性区分1に該当する成分濃度が3%以上あるため、区分1に相当。

呼吸器感作性： 混合物の呼吸器感作性データが不十分のため、分類できない。

皮膚感作性： 混合物中の、皮膚感作性区分1に該当する成分濃度が0.1%以上あるため、区分1に相当。

生殖細胞変異原性： 混合物の、生殖細胞変異原性区分2以上に該当する成分濃度は0.1%未満。

発がん性： 混合物の、発がん性区分2以上に該当する成分濃度は0.1%未満。

生殖毒性： 混合物の、生殖毒性区分1Aに該当する成分濃度が0.3%以上あるため、区分1Aに相当。

特定標的臓器毒性（単回暴露）： 混合物の、特定標的臓器毒性（単回ばく露）区分1に該当する成分濃度が10%以上あるため、区分1に相当。

特定標的臓器毒性（反復暴露）： 混合物の、特定標的臓器毒性（反復ばく露）区分1に該当する成分濃度が10%以上あるため、区分1に相当。

誤えん有害性： 混合物の、誤えん有害性区分1に該当する成分濃度が10%以上あるため、区分1に相当。

刺激性（皮膚，眼）： ・皮膚をわずかに刺激する。繰り返し、長期間の接触は、皮膚炎を起こす可能性がある。また、繰り返し、長期間の接触、又は吸入は人によってアレルギー反応を引き起こす可能性がある。
・蒸気は呼吸器、眼に刺激性である。繰り返しの接触は結膜炎を起こす。

成分の急性毒性：

成分名	LD50 (mg/kg)	生物種
トルエン	4800	ラット
イソプロピルアルコール	3437	ラット
1-ブタノール	790	ラット

12. 環境影響情報

[GHS分類] 水生環境有害性 短期（急性）： 混合物の、水生環境有害性 短期（急性）区分2に該当する成分濃度が25%以上あるため、区分2に相当。

水生環境有害性 長期（慢性）： 混合物として、GHS判定上分類できない。

生態毒性： データなし。

残留性・分解性： データなし。

生体蓄積性： データなし。

土壌中の移動性： データなし。

オゾン層への有害性： モントリオール議定書の附属書に記載される物質成分はない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び都道府県条例等に基づき焼却するか、許可を受けた処理業者に委託する。

汚染容器・包装： 残余廃棄物と同様に処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号： 1 2 6 3
品名： 塗料又は塗料関連物質
国連分類： 3
容器等級： II

「取扱い及び保管上の注意」の項に記載による他、引火性の強い有害な液体に関する一般的な注意による。
その他、消防法、船舶安全法等の法令に定める所に従う。
容器に漏れのない事確かめ、転倒、落下、破損がないように、積み込み荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

消防法： 危険物第四類第一石油類 危険等級 II
毒物劇物取締法： トリエチレンテトラミン
労働安全衛生法：
[表示対象物質] トルエン、n-ブタノール、イソプロピルアルコール
[通知対象物質] トルエン、n-ブタノール、イソプロピルアルコール
[特化則] 非該当
[有機則] イソプロピルアルコール、トルエン
P R T R 法：
[第1種指定化学物質] トルエン
[第2種指定化学物質] 非該当

16. その他の情報

この安全データシートは、JIS Z 7253(2019)に基づいて記載しております。記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供であり、いかなる保証もなすものではありません。
また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

引用文献：

・ 1 4 1 0 2 の化学商品	化学工業日報社
・ 化学物質の危険，有害便覧	中央労働災害防止協会
・ 知っておきたい職場の化学物質	中央労働災害防止協会
・ G H S 対応による混合物（化学物質）の M S D S 作成手法の研修テキスト（改訂版）	中央労働災害防止協会
・ 製品安全データシートの作成指針	日本化学工業協会
・ エポキシ樹脂・硬化剤正しい取扱いの手引き	エポキシ樹脂技術協会
